埼玉トヨペット Green Brave

AUTOBACS SUPER GT 2020 SERIES

2020 RACE REPORT

＃52 埼玉トヨペット GB GR スープラ GT

2020年11月7日（土）～8日（日）

AUTOBACS SUPER GT Round7

FUJIMAKI GROUP MOTEGI GT 300km RACE

ツインリンクもてぎ（栃木県茂木町）

予選18位から追い上げるも表彰台に届かず4位

予選日（土曜日）の天候は晴。第7戦ではウェイトハンディが半分に緩和されており、GR スープラ GT には 50kg（前戦は 99kg）のウェイトハンディと 25kg の BoP ウェイトが搭載されている。公式練習では吉田選手、川合選手の順にコースイン。GR スープラ GT はストップ＆ゴーレイアウトが連続するもてぎのコースを苦手としており、ベストタイムは吉田選手がマークした 1 分 48 秒 408（19 位）。Q1 突破にはさらなるタイムアップが必要だが、公式練習中に行った調整により、マシンのフィーリングは改善しており、Q1 突破の可能性は十分。Q1 には川合選手が出場し、2 回目のアタックで目標タイムを上回る 1 分 47 秒 816 をマーク。Q1 突破ラインぎりぎりの 8 位につけるが、後続のライバルが川合選手のタイムを上まわったため、惜しくも Q1 敗退。予選結果は 18 位となった。

決勝日の天候は晴。スタートドライバーは川合選手で、第 5 戦富士以来のタイヤ無交換作戦を実行する。川合選手は 1 周目のホームストレートを 17 位で通過。翌周、スピンやペナルティで後退するマシンがあり、15 位に浮上する。川合選手のペースは良好で、タイヤをしっかりマネジメントしながら#2 エヴォーラ、#30 プリウス、#31 プリウス、#96RCF を次々とパス。15 周目に 11 位まで順位を上げる。20 周を過ぎた頃からライバルがピットに入り始めるが、GT300 のマシンがコースサイドにストップ。22 周目にセーフティカー（SC）が導入される。ピットに入ろうとしていた川合選手にとって、アンラッキーな展開。SC 中にピットイン（ドライバー交代はできない）を行ったチームがあるため、川合選手の順位は 4 位まで上がっている。28 周目からレース再開。川合選手は 1 周走ってピットイン。吉田選手に交代し、給油のみでピットアウトする。ピットとドライバー、スポッターの平沼が連携した絶妙のタイミング。吉田選手は 5 位でホームストレートに戻ってくる。翌周に＃61BRZ を抜き 4 位に上がり、しばらくの間#18NSX を追う展開となるが、ペナルティで#18NSX が後退。38 周目に 3 位となる。後方から＃61BRZ が追い上げており、厳しい戦いになると思われたが、吉田選手は渾身のドライビングで逃げ続ける。2 台のバトルは残り 10 周をきっても続いており、このままの順位でフィニッシュすると思われたが、#11GT-R が#61BRZ に追いつき、55 周目の 5 コーナーで 2 台が接触。#61BRZ はスピンし、上位争いから脱落する。さらに#11GT-R も#360GT-R にパスされ、吉田選手の直接のライバルは#360GT-R となる。2 台の差は約 4 秒あったが、ペースに勝る#360GT-R が徐々に接近。さらに周回遅れのマシンが吉田選手の行く手を阻み、58 周目にはテールトゥノーズとなる。ファイナルラップに入っても接触すれすれの接近戦が続くが、吉田選手は直線区間で#360GT-R に離され、4 位でチェッカー。開幕戦以来の表彰台登壇はならなかった。

決勝結果（GT300）

#52 埼玉トヨペット Green Brave GR スープラ GT
（吉田広樹／川合孝汰）
決勝：4 位（59 周、1 時間 56 分 24 秒 095）
予選：18 位（Q1：1 分 47 秒 816）

GT300 決勝結果

順位	車名（車両）	周回数
1 位	リアライズ 日産自動車大学校 GT-R（日産 GT-R NISMO GT3）	60
2 位	グッドスマイル初音ミク AMG（メルセデス AMG GT3）	60
3 位	RUNUP RIVAUX GT-R（日産 GT-R NISMO GT3）	59
4 位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT（トヨタ GR スープラ GT）	59
5 位	SUBARU BRZ R&D SPORT（スバル BRZ GT300）	59
6 位	HOPPY Porsche（ポルシェ 911 GT3R）	59

天候：晴、路面：ドライ ※トップ 6 まで（出走 30 台）

©2020 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

DRIVERS VOICE

第 1 ドライバー吉田広樹

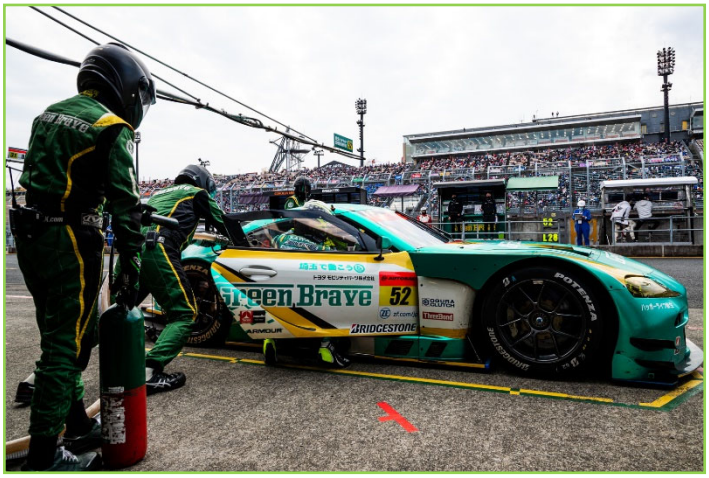
（予選後）自分たちが望んでいるような状況で走れているわけではないので、簡単にはいかないと思っていました。とはいえ、チームもベストを尽くしてくれて、少しずつドライバーの希望に合わせてくれました。せめて Q1 を通ればつながるレースができたので、そこが最低限のところだったのですが、あと一歩およばなかったです。

（決勝後）できることはやったので、しょうがないです。最後のところは大きかったですし、この前の富士でみんな 1〜2 秒の大切さをわかっていたので、誰のミスとかそういう話ではなく、チーム全体でもっと考えないとチャンピオンを争えない思いました。#61BRZ は速いところとそうではないところが GR スープラ GT と似ていたので、順位をキープできました。SC を拾えなかったのは仕方ありませんが、ピットインのタイミングはチームが考えてくれました。ファインプレーだと思います。

第 2 ドライバー川合孝汰

（予選後）公式練習の時とセッティングを変えていき、クルマとしてはもちろんいい方向にいったのですが、全体的にもう少し直したい部分は改善が見られなかったので、タイヤをいたわるためにも決勝はリアを守る方向でいきたいと思っています。前回のもてぎで苦しんだ時よりはクルマ的、タイヤ的にも進化しているので、バトルもできると思いますが、レースでは何が起きるかわかりません。吉田さん、チームのみなさんと考えていきたいと思います。

（決勝後）ぼくのスティントでは、ガソリンを積んでいる分、クルマが重たく、無理をするとタイヤが壊れてしまうので、リアをホイールスピンさせずに、フロントもこじらず、自分の中でおさえながら一発のチャンスを考えて前を抜いていました。今日は 100 点のレースだったと思います。クルマ、チームの戦略がどんどん良くなっているので、次の富士では強い埼玉トヨペットを見せて締めくくれたらと思います。



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1 位	56	KONDO RACING	77
2 位	65	K2 R&D LEON RACING	70
3 位	11	GAINER	63
4 位	55	ARTA	60
5 位	52	埼玉トヨペット Green Brave	59
6 位	61	R&D SPORT	58

トップ 6 まで

PARTNERS

アルパインマーケティング株式会社

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション

埼群スリーボンド株式会社

株式会社 Team Iwakiri Japan

株式会社ドーム

トヨタモビリティパーツ株式会社

株式会社ハッピーライフ彩生

※50 音順

【次戦予告】 11 月 28 日〜29 日　富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町）

©2020 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.